

氏名(生年月日)	ミズ 水	グチ 口	ミ 美	チ 知
本籍				
学位の種類	医学博士			
学位授与の番号	乙第898号			
学位授与の日付	昭和63年2月19日			
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドの起源に関する形態学的、免疫組織学的研究			
論文審査委員	(主査) 教授 肥田野 信 (副査) 教授 梶田 昭, 教授 羽生富士夫			

論文内容の要旨

目的

アミロイドの起源については多くの研究があるが、皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドの起源については線維芽細胞、表皮細胞、膠原線維、弾力線維などの関与が主張されてきた。最近、表皮細胞由来説が注目され、抗ケラチン抗体を用いた免疫組織学的観察で、アミロイド物質が陽性を示すという報告が相次いでいる。しかし、具体的に表皮細胞からどのような過程を経てアミロイドに変化するかについては一定の見解がない。そこで、種々の皮膚限局性アミロイド症症例について、組織学的並びに免疫組織学的観察を併せて行ない、これと並行して cytoid body の出現する皮膚疾患についても同様の観察を行なって、皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドの沈着過程について検討した。

対象および方法

アミロイド群としてアミロイド苔癬4例、斑状アミロイド症10例、アミロイド沈着を伴った friction melanosis 2例の計16例、対照群として cytoid body のみられた疾患9例を用いた。方法としてはパラフィン切片、新鮮凍結切片を作製し、アミロイド染色、抗ケラチン抗体を用いた酵素抗体法、免疫電顕を施行し、表皮直下のアミロイド塊、表皮内の変性角化細胞、cytoid body の染色性につき検討した。また、通常の電顕の観察もおこなった。

結果

1. 形態学的観察

表皮内変性角化細胞と cytoid body との内部ではトノフィラメントが増生、凝集し、うねりのある太い線維性物質で構成されている。これら変性角化細胞が基底膜を破って真皮へ滴落している像も観察できた。また、真皮上層のアミロイド塊は、典型的なアミロイド線維と、うねりのある太い線維とから構成されている。後者は変性角化細胞や cytoid body でみられた線維と同一である。

2. 免疫組織学的観察

凍結切片において cytoid body、アミロイド塊ともにケラチン陽性を示し、免疫電顕でも陽性が確認された。これに反し、パラフィン切片では陰性だった。

考察

以上の結果から、皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドは表皮細胞のケラチンに由来する可能性が大といえる。そこで、アミロイドの沈着する機序について次のような過程が考えられる。炎症や機械的刺激によって表皮内に異常な変性角化細胞が生じる。変性が軽度の場合や変性角化細胞が少数のときは、表皮全体の角化はそのまま進行するが、変性が高度の場合には変性角化細胞の線維成分が表皮真皮接合部を破って真皮内に滴落して cytoid body となる。多くの場合、cytoid body は皮膚の修復過程の中でマクロファージの貪食などにより消失するが、一部のものは真皮内に残り、トノフィラメントの線維が1本1本ほどだけ、さらに変性が進んでアミロイド線維となると考えられる。

結論

以上, トノフィラメントの凝集像や, アミロイド塊, cytooid body の抗ケラチン抗体陽性から, 皮膚限局性

アミロイド症におけるアミロイドは表皮細胞に由来することが強く示唆された。

論文審査の内容

本研究は病理組織学, 酵素抗体法, 免疫電顕などの手技を応用して, 皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドが表皮細胞のケラチンから生成される過程を明らかにしたもので, 学術上価値あるものと認める。

主論文公表誌

皮膚限局性アミロイド症におけるアミロイドの起源に関する形態学的, 免疫組織学的研究
東京女子医科大学雑誌 第57巻 第12号
1423~1432頁 (昭和62年12月25日発行)

副論文公表誌

- 1) 肺癌が先行した皮膚筋炎
皮膚病診療 3 (10) 931~934 (1981)
- 2) Dowling-Meara 型と思われる先天性表皮水疱症の成人例
西日本皮膚科 45 (3) 365~371 (1982)
- 3) 遺伝性水疱症
小児外科 15 (12) 1507~1513 (1983)
- 4) Mélanose de friction (摩擦黒皮症)
Ann Dermatol Venereol 111 (12) 1063~1071 (1984)
- 5) Friction Melanosis に類似する色素沈着を呈した斑状アミロイド症の6例
皮膚科の臨床 28 (2) 173~179 (1986)
- 6) 尋常性乾癬と水疱性類天疱瘡の合併
皮膚病診療 9 (10) 917~920 (1987)